

# サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	論理国語	時間数	2時間／週
一学期中間試験まで					
単元名	第4章「ことばへの問い」				使用教材
単元の概要	<p>・我々は他人を傷つけることばの力を感じる反面、描写しきれない無力さを感じる。しかし、我々が世界を把握することにも、「ことばで表せない」ものが存在すること自体もことばがあるからできることである。</p>				教科書・図説
評価規準				単元内容	
究	A3 筆者について踏まえ、筆者の考えている「ことばの力」について立体的で深い読解ができる。	B3 まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	C3 主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題を自分の身に引きつけて考えを深めることができる。	<p>・言葉が扱いにくく無力とも思えるものであるのに、人間の生の環境をどのように形作るのか理解する。</p> <p>・言語こそが一切の可能性を準備するという筆者の言語観について理解を深める。</p>	
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 自分なりに考える「ことばの力」について根拠を明らかにし、論理的な意見にまとめることができる。	C2 主題に対して批判的な見解から見つめ、多角的な視点で自分なりに評価することができる。		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し客観的に考えることができる。		
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	論理国語	時間数	2時間／週
一学期中間試験まで					
単元名	第1章「自然を守る」ということ			使用教材	
単元の概要	「自然を守る」ことについて自然と人間は二項対立ではないことを「保存」「保全」の概念への反証を通して述べている。			教科書・図説	
評価規準			単元内容		
究	A3 筆者について踏まえ、筆者の考えている「自然を守る」ことについて立体的で深い読解ができる。	B3 まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	C3 主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題につながる現代社会のテーマについても考えを深めることができる。	・自然と人間を対立的に捉えているように見える従来の自然保護思想を整理し、筆者の新たな視点を理解する。	
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 筆者の主張について、論理的に意見をまとめることができる。	C2 主題に対して批判的な見解から見つめ、多角的な視点で自分なりに評価することができる。		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し社会問題などに結び付けながら客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉 〈主体性〉 ・PBLの参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・筆者の考える「物語」について理解し、考察ができたか。 ・筆者の主張を他の作品を使って具体的に考え、根拠を持って論理的に意見をまとめることができたか。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	論理国語	時間数	2時間／週
一学期期末試験まで					
単元名	文学国語第3章「ラムネ氏のこと」			使用教材	
単元の概要	・当たり前のように存在するものを最初に生み出すことに生涯を掛けた名も知れぬ人々への思いを読み取る。			教科書・図説	
評価規準			単元内容		
究	A3 筆者について踏まえ、筆者の考えている「ラムネ氏」について立体的で深い読解ができる。	B3 まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	C3 主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題につながる現代社会のテーマについても考えを深めることができる。	・論の構造を捉えることで筆者の主張をつかみ、さらに、その背後に現代社会に関する様々な問題提起について正しく捉える。	
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 筆者が「ラムネ氏」という隠喩で読んでいる人物(事柄)についての意見を論理的にまとめることができる。	C2 主題に対して批判的見解から見つめ、多角的な視点で自分なりに評価することができる。		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し社会問題などに結び付けながら客観的に考えることができる。	<b>〈留意点・評価〉</b> 〈主体性〉 ・PBLの参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・「統計」を深く知ることで、統計から読み取れる情報量を増やし視野を広げることができたか。 ・「自己定量化」の効用と問題点について意見を持つことができたか。	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	論理国語	時間数	2時間／週
一学期期末試験まで					
単元名	文学国語第9章「文学の仕事」			使用教材	
単元の概要	・「文学」というものについて、筆者がどのように考えているのか読み取る。			教科書・図説	
評価規準			単元内容		
究	A3 筆者について踏まえ、筆者の考えている「文学」観について立体的で深い読解ができる。	B3 まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	C3 主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題につながる現代社会のテーマについても考えを深めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論の特色を理解し、読解の方法を学び、論理的な思考力を養う。</li> <li>・文章の論理展開を追いながら、論旨を性格に読み取る能力を身につける。</li> </ul>	
活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 筆者の主張について、論理的に意見をまとめることができる。	C2 主題に対して批判的な見解から見つめ、多角的な視点で自分なりに評価することができる。		
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し社会問題などに結び付けながら客観的に考えることができる。	<p>〈留意点・評価〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〈主体性〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・PBLの参加態度、発言、意見</li> <li>・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。</li> </ul> </li> <li>〈思考・判断・表現〉 <ul style="list-style-type: none"> <li>・百姓の姿が筆者達にとって驚きであった理由について考えることが出来たか。</li> <li>・偶然残った資料の意義と、それらを調査・探究することの重要性を理解することができたか。</li> <li>・ことばは、単なるコミュニケーションの道具を越え、社会を規定するほどの力をも秘めていることを理解できたか。</li> </ul> </li> </ul>	
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

# サレジアン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース	高校3年生	教科／科目	論理国語	時間数	2時間／週
二学期中間試験まで					
単元名	第2章「貨幣共同体」				使用教材
単元の概要	貨幣はそれ自身に価値があるのではなく、これまで使われてきたからこれからも有効に使われるだろうという期待以外にその価値を支えるものはない。それ故にその貨幣を受け取らないという他者の存在に、常に脅かされているものである。				教科書・プリント
評価規準			単元内容		
究	A3	B3	C3	・「貨幣」というものの本質に理解を深め、社会機構を支えているものが、根拠のない虚構であることに理解を深める。 ・主題を解明していく筆者の文章スタイルから、文章の書き方、その効果について理解を深める。	
	筆者について踏まえ、筆者の考えている「貨幣」観について立体的で深い読解ができる。	まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題をつながる現代社会のテーマについても考えを深めることができる。		
活	A2	B2	C2	〈留意点・評価〉 〈主体性〉 ・PBLの参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・明治時代の近代化について時代背景を踏まえたうえで筆者の考える「開化」とその影響について理解することができたか。 ・それが現代においても影響を与えているのか、いないのか、与えているならばどのような影響なのか、そこから生じる社会問題は何かなどについて自分なりに根拠を持って論理的に意見をまとめることができたか。 ・複数あるこの作品の主題をどのくらい把握することができたか。 ・「先生」「K」「私」などの人物について深く考察し、それぞれの立場に立って多角的な視点から考え、論理的な根拠を持って自分なりにこの作品の主題に対して意見をまとめることができたか。	
	主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	筆者の主張について、論理的に意見をまとめることができる。	主題に対して批判的見解から見つめ、多角的な視点で自分なりに評価することができる。		
礎	A1	B1	C1	主題をメタ化・一般化し、社会問題などに結び付けながら客観的に考えることができる。	
	文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。			
	知性・知識	応用・発展	創造的思考		

# サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		高校3年生	教科／科目		論理国語	時間数	2時間／週
二学期期末試験まで							
単元名	第5章「思考の誕生」					使用教材	
単元の概要	「思考」とは、たやすくイメージとしては内面化しがたい「他人」という「自分」とは異質な存在との遭遇により、自己の内面に葛藤がもたらされ、それにより「自分」が変化する過程で、それまでの「自分」自身には属することのない新鮮な驚きとして形成されるものである。					教科書・図説	
評価規準				単元内容			
究	A3 筆者について踏まえ、筆者の考えている「思考」について立体的で深い読解ができる。	B3 まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	C3 主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題につながる現代社会のテーマについても考えを深めることができる。	・現在の日本社会に流布している、いかにも正当性を備えているように思われる画一的な言説の虚妄性を理解させる。			
	活	A2 主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	B2 筆者の主張について、論理的に意見をまとめることができる。				
礎	A1 文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	B1 文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	C1 主題をメタ化・一般化し社会問題などに結び付けながら客観的に考えることができる。	〈留意点・評価〉			
	知性・知識	応用・発展	創造的思考	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈主体性〉</li> <li>・PBLの参加態度、発言、意見</li> <li>・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。</li> <li>〈思考・判断・表現〉</li> <li>・「環境」についての私たちの常識と従来の考え方が同一であることを理解し、従来の考え方との対比において、ユスクキュルの主張の独自性に気づけたか。</li> <li>・「環世界論とはどのような考え方かについてまとめられたか。</li> </ul>			

# サレジオン国際学園中学校高等学校 令和7年度 単元ルーブリック

学年／コース		高校3年生	教科／科目		論理国語	時間数		3時間／週
二学期期末試験まで								
単元名		文学国語第4章「無常ということ」					使用教材	
単元の概要		歴史とは人間にとって完結した動かしがたい形としてあり、まやかにみちた解釈でゆがめるのではなく、それをまるごと思い出すべきものである。無常とは過去に謙虚に向かいえない人間のおごりである。					教科書・図説	
評価規準				単元内容				
究	A3	B3	C3	・筆者の批評精神を学び、文体の特色を考える。筆者と、文中の人たちとそれぞれの戦争のくぐり抜け方がどう違っていったのか、それが文章にどう反映しているか、考えを進める。				
	筆者について踏まえ、筆者の考えている「無常」について立体的で深い読解ができる。	まとめた自分の意見をわかりやすく工夫して発表し、他者の意見と比較しながら再構築することができる。	主題に対して総合的な見解を持つだけでなく、主題につながる現代社会のテーマについても考えを深めることができる。					
活	A2	B2	C2	・筆者の批評精神を学び、文体の特色を考える。筆者と、文中の人たちとそれぞれの戦争のくぐり抜け方がどう違っていったのか、それが文章にどう反映しているか、考えを進める。				
	主題を理解した上で、簡潔に内容を要約できる。	「無常」について筆者の主張を明らかにし、論理的に意見をまとめることができる。	主題に対して批判的な見解から見つめ、多角的な視点で自分なりに評価することができる。					
礎	A1	B1	C1	〈留意点・評価〉 〈主体性〉 ・PBLの参加態度、発言、意見 ・積極的に自分の身に引きつけて考えることができたか。 〈思考・判断・表現〉 ・「トリアージ社会」の内実について、本文の内容に沿って理解することが出来たか。 ・この作品の主題について理解し深い考察をすると共に、多角的な視点や論理的な根拠を持って自分なりにこの作品の主題に対して意見をまとめることができたか。				
	文章の概要を掴んだ上で、語句に関する知識(漢字・言葉の意味など)を習得し、活用することができる。	文章の主題に対して自分の意見を構築することができる。	主題をメタ化・一般化し社会問題などに結び付けながら客観的に考えることができる。					
	知性・知識	応用・発展	創造的思考					